学習指導案形式例【R８ 各教科】（群馬県教育委員会）

令和７年度から令和８年度の変更箇所は黄色マーカー部分です。

○ ○ 科 学 習 指 導 案

単元名（題材名）「○○○○○○○○○○○○○」〔学指要領：例（　）、ア、(7)〕

令和○年○月○日（○）　第○校時　○○○○教室
○○立○○○学校　○年○組　○名　指導者　○○　○○

Ⅰ　単元（題材）の構想

1　単元（題材）の目標及び児童（生徒）の実態

	目　標	児童（生徒）の実態
知識及び技能	・	・
思考力、判断力、表現力等		
学びに向かう力、人間性等	・	・

＜文型・文末例＞
知及技「～を理解することが**できる**。」
思判表等「～考察し、～表現することが**できる**。」
学び等「～を主体的に追究（追求）**しようとする**。」

2　評価規準

知識・技能	・
思考・判断・表現	・
主体的に学習に取り組む態度	・

＜文末例＞
知・技、思・判・表「～**している**。」
主体態「～**しようとしている**。」

3　指導及び評価の計画（全○時間：本時第○時）　※指導に生かす評価○、評定に用いる評価●

時	学習活動	知	思	態
1	・～～～

【ねらい】
・「**中心的な学習活動＋本時に育成を目指す資質・能力**」とし、**教師の立場**で、具体的かつ簡潔に記述する。
・どの単位時間でも同じ記述にならないように、単元(題材)における本時の位置付けを明確にする。
・参観者が、「ねらい」を見ただけで、授業の主たる学習活動や目標をイメージできるように記述する。
（授業参観の視点となる）

【めあて】
・「ねらい」を達成するために「**何を**」「**どのように**」**学ぶのか**など、学習の見通しを明確に意識できる**児童生徒向け**の言葉を記述する。※「はばプラⅡ」参照

【主な学習活動】
・番号を付け、**児童生徒の立場**で、具体的かつ簡潔に記述し、時間は大まかに（○分）で示す。
・「導入」「展開」「終末」の区切りは実線罫線とする。

【予想される児童（生徒）の意識】
・**一人の児童生徒を想定し、**本時の「**ねらい**」**の達成に向かって意識が変容していく様子**を記述する。

【まとめ】
・「**めあて**」**に正対し、**育成を目指す資質・能力とつながる内容を記述する。

【振り返り】
・学習したことの理解度や自身の変容、学習したことと他の学習や生活などとの関連、次時への見通しなどの視点から、児童生徒が本時の学習全体を見返した時に想定される意識を記述する。

※「まとめ」や「振り返り」については、各教科等の特質により位置付けや内容、関係性が異なるため、工夫して示す。

Ⅱ　本時の学習（●／●）

1　ねらい　～～～